



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月31日

上場会社名 ヒロセ電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6806 URL <https://www.hirose.com/corporate/ja>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 和徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 原 慶司 TEL 045-620-7410  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	122,004	23.9	31,018	46.0	32,168	54.5	23,787	58.8	23,787	58.8	25,930	37.6
2021年3月期第3四半期	98,479	7.6	21,242	31.1	20,814	23.0	14,982	25.1	14,982	25.1	18,842	66.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	669.01	668.82
2021年3月期第3四半期	413.09	413.07

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	373,574	327,578	327,578	87.7
2021年3月期	370,504	326,092	326,092	88.0

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	120.00	—	120.00	240.00
2022年3月期	—	160.00	—		
2022年3月期（予想）				160.00	320.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	161,000	20.6	38,000	36.3	39,000	37.7	28,000	40.6	788.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期3Q	38,175,942株	2021年3月期	38,175,942株
2022年3月期3Q	2,821,941株	2021年3月期	1,891,247株
2022年3月期3Q	35,555,478株	2021年3月期3Q	36,267,399株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2022年2月3日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、当日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、9月末に緊急事態宣言が解除され、生産活動・消費活動によりやく持ち直しの兆しが見えてきましたが、今年に入り再び感染拡大し不透明感が出てきました。

また、海外におきましては、欧米ではウィズ・コロナに舵を切り、経済活動を再開させた結果、景気は回復の兆しが見え、中国においては、夏場にペースダウンしたものの、秋から持ち直し好調を維持しています。

このような状況下当社グループは、主にスマートフォン市場向け、自動車市場向け及び産業用機器市場向けのグローバル事業拡大を進めると共に高度化する市場ニーズへの更なる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売・生産体制の強化を推進して参りました。

当社グループがリリースする小型基板対FPCコネクタ「BM50」シリーズが、世界最大規模の展示会であるCES 2022に先立って行われたCES® Innovation AwardsプログラムのMobile Devices & Accessories 部門で、CES® 2022 Innovation Awards Honoreeを受賞するなど、当社グループの新製品は市場でも評価を得ております。

その結果、民生用及び産業用機器市場向けビジネスが堅調に推移したため、当第3四半期連結累計期間の売上収益は1,220億4百万円（前年同期比23.9%増）、営業利益は310億18百万円（同46.0%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は237億87百万円（同58.8%増）となりました。

また、報告セグメントごとの業績を示しますと、次の通りであります。

#### [多極コネクタ]

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主としてスマートフォン、タブレットPC、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器及び医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後の更なる高度情報通信ネットワーク化社会及び環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当第3四半期連結累計期間は、売上収益は1,098億23百万円（前年同期比24.6%増）、営業利益は285億87百万円（同42.7%増）となりました。

#### [同軸コネクタ]

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にスマートフォンやパソコンなどの無線LANやBluetooth通信のアンテナ接続や自動車でのGPSアンテナ接続として、また無線通信装置や電子計測器の高周波信号接続として使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、売上収益は85億12百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は22億5百万円（同97.3%増）となりました。

#### [その他]

以上のコネクタ製品以外の製品として、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

当第3四半期連結累計期間は、売上収益は36億69百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益は2億27百万円（同144.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物の増加などにより、前連結会計年度末に比べ30億70百万円増加して、3,735億74百万円となりました。負債合計は営業債務及びその他の債務の増加などにより15億85百万円増加して459億96百万円となりました。また、資本合計は自己株式の取得による減少があったものの、四半期利益の計上による利益剰余金の増加の結果、14億86百万円増加して3,275億78百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は87.7%となり、前連結会計年度末と比べて0.3%減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、産業用機器向けビジネス、スマートフォン向けビジネス及びコンシューマ機器向けビジネスが前回予想を上回る見込みのため、次の通り業績予想を修正いたします。

(2022年3月期 通期業績予想の修正)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	156,000	35,000	36,000	26,000	732.32
<b>今回修正予想 (B)</b>	<b>161,000</b>	<b>38,000</b>	<b>39,000</b>	<b>28,000</b>	<b>788.60</b>
増減額 (B-A)	5,000	3,000	3,000	2,000	—
増減率 (%)	3.2	8.6	8.3	7.7	—
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	133,538	27,885	28,332	19,916	549.10

為替レートにつきましては通期のレートをそれぞれ、1米ドル=111.58円、1ユーロ=129.97円、1韓国ウォン=0.0960円の前提としています。

また、配当予想につきましては変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	57,837	73,803
営業債権及びその他の債権	36,620	43,639
棚卸資産	16,915	19,267
その他の金融資産	131,274	119,073
その他の流動資産	5,401	5,325
流動資産合計	248,047	261,107
非流動資産		
有形固定資産	61,182	59,637
使用権資産	4,357	4,633
無形資産	3,295	3,629
その他の金融資産	48,918	39,967
繰延税金資産	2,515	2,523
退職給付に係る資産	1,780	1,732
その他の非流動資産	410	346
非流動資産合計	122,457	112,467
資産合計	370,504	373,574

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	19,511	22,079
リース負債	821	826
その他の金融負債	102	91
未払法人所得税	6,532	4,654
その他の流動負債	5,046	5,272
流動負債合計	32,012	32,922
非流動負債		
リース負債	3,581	3,873
その他の金融負債	134	132
退職給付に係る負債	320	332
繰延税金負債	7,616	7,983
その他の非流動負債	749	754
非流動負債合計	12,400	13,074
負債合計	44,412	45,996
資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	11,230	11,243
利益剰余金	317,265	331,013
自己株式	△21,874	△36,327
その他の資本の構成要素	10,067	12,245
親会社の所有者に帰属する持分合計	326,092	327,578
資本合計	326,092	327,578
負債及び資本合計	370,504	373,574

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	98,479	122,004
売上原価	56,602	66,035
売上総利益	41,877	55,969
販売費及び一般管理費	22,112	24,947
その他の収益	1,835	240
その他の費用	358	244
営業利益	21,242	31,018
金融収益	839	1,172
金融費用	1,267	22
税引前四半期利益	20,814	32,168
法人所得税費用	5,832	8,381
四半期利益	14,982	23,787
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	14,982	23,787
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	413.09	669.01
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	413.07	668.82

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	14,982	23,787
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	—	△35
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品	469	△50
純損益に振り替えられることのない項目合計	469	△85
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	3,358	2,219
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する負債性金融商品	33	9
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	3,391	2,228
税引後その他の包括利益合計	3,860	2,143
四半期包括利益合計	18,842	25,930
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	18,842	25,930

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2020年4月1日残高	9,404	11,293	308,343	△24,456	1,557	306,141	306,141
四半期利益			14,982			14,982	14,982
その他の包括利益					3,860	3,860	3,860
四半期包括利益合計	—	—	14,982	—	3,860	18,842	18,842
剰余金の配当			△8,704			△8,704	△8,704
自己株式の取得		△0		△5		△5	△5
自己株式の処分		10		84		94	94
自己株式の消却		△2,381		2,381		—	—
利益剰余金への振替		2,340	△2,344		4	—	—
所有者との取引額等合計	—	△31	△11,048	2,460	4	△8,615	△8,615
2020年12月31日時点の残高	9,404	11,262	312,277	△21,996	5,421	316,368	316,368

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2021年4月1日残高	9,404	11,230	317,265	△21,874	10,067	326,092	326,092
四半期利益			23,787			23,787	23,787
その他の包括利益					2,143	2,143	2,143
四半期包括利益合計	—	—	23,787	—	2,143	25,930	25,930
剰余金の配当			△10,010			△10,010	△10,010
自己株式の取得		△2		△14,576		△14,578	△14,578
自己株式の処分		1		123		124	124
株式報酬取引		20				20	20
利益剰余金への振替		△6	△29		35	—	—
所有者との取引額等合計	—	13	△10,039	△14,453	35	△24,444	△24,444
2021年12月31日時点の残高	9,404	11,243	331,013	△36,327	12,245	327,578	327,578

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、主にコネクタ等を生産・販売しており、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループはコネクタの形状を基礎とした製品別セグメントから構成されており、「多極コネクタ」及び「同軸コネクタ」の2つを報告セグメントとしております。

「多極コネクタ」は、主として機器の外部に実装する丸形コネクタ及び角形コネクタと機器の内部に実装するリボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC（フレキシブル基板）用コネクタ、ナイロンコネクタがあります。

「同軸コネクタ」は、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、ここには光コネクタも含んでおります。

## (2) 報告セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	88,121	7,131	95,252	3,227	98,479
収益合計	88,121	7,131	95,252	3,227	98,479
営業利益	20,032	1,117	21,149	93	21,242
金融収益	—	—	—	—	839
金融費用	—	—	—	—	1,267
税引前四半期利益	—	—	—	—	20,814

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

## 地域に関する情報

	日本	中国	韓国	その他	合計
売上収益	23,102	37,666	13,980	23,731	98,479
連結売上収益に占める割合(%)	23.5	38.2	14.2	24.1	100.0

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	109,823	8,512	118,335	3,669	122,004
収益合計	109,823	8,512	118,335	3,669	122,004
営業利益	28,587	2,205	30,791	227	31,018
金融収益	—	—	—	—	1,172
金融費用	—	—	—	—	22
税引前四半期利益	—	—	—	—	32,168

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

## 地域に関する情報

	日本	中国	韓国	その他	合計
売上収益	30,538	44,138	15,979	31,349	122,004
連結売上収益に占める割合(%)	25.0	36.2	13.1	25.7	100.0